

# ぱりりっどき

懐かしい遊び  
新しい遊び

盛り沢山!

作・演出/中島研  
美術/有賀二郎 わらべうた指導/古賀由美子  
音楽監修/曲尾友克 制作/西川典之



三味線の生演奏にのせて

## 語り芝居「はなさかごろう」

主な内容

- お手玉
- おなわとび
- 竹馬
- 風車
- 傘まわし
- わらべうた
- 郡上踊り
- 語り芝居



岐阜の民話より  
「はなさかごろう」

いくつかのプログラムを組み合わせで上演いたします

むかしむかし、一平という男の子がおっかさんと暮らしていました。働き者のおっかさんは毎日畑仕事へ行き、一平はそんなおっかさんを助けてやりたいと思っていました。そんなある日、川からどんぶらこどんぶらこ、なにやら流れてきました。それはなんとまあ、大きな大きな柿でした。さっそく柿を切ると、そこから飛び出したものは…。おっかさんの怪我。欲張りな殿さまの無理難題。さて一平は、どう乗り越えるでしょうか。ささらや拍子木など、鳴り物が物語に彩りを添えます。美濃和紙で出来た衣装や小物に華やかな和傘など岐阜の魅力あふれる舞台で、三味線の音色と共に語られる、一平のちょっと不思議な昔話。

## あそび心をつなぐ

岐阜に拠点をすえ各地への公演を続ける中で、私たちは岐阜という地域をもっと知りたいと思いました。岐阜県は飛騨から美濃、そして美濃地域は東西にも広く、それぞれの土地に根付く豊かな文化があります。綿々と底に流れる人々の思いの深さ、そこから表現される伝統文化・芸能の数々。少しでも自分たちのアイデンティティを創造し全国の子どもたちに届けていきたい。私たちの内奥に創造の核が生まれた瞬間でした。そして私たちの取材の旅が始まりました。どんなに苦しい時代でも、それははじき返してきた民衆の力、とりわけ子どもたちは“あそび”の中で文化を再創造し、今につなげてきたのではないかと。今や子どもをとりまく社会は商業主義に汚染され続け大人も子どもも総動員されているかに見えますが、私たちは子どもの力を信じ、昔を懐かしみ伝統文化を見直すというだけに留まらず、現在と未来を生きる自分たちと子どもたちの手で、素晴らしい素材を生かしながら新しい劇空間を創り上げていきたいと思えます。

